

# 令和元年度「子供と家族・若者応援団表彰」受賞者

## 【子供・若者育成支援部門】

社会福祉法人 あーると (青森県推薦) ...1頁

NPO法人 発達障がい者就労支援ゆあしっぷ  
(福岡県推薦) ...1頁

合計2件

青い空と白い雲のキャンプ実行委員会 (京都府推薦)  
...2頁

鬼っジョブ実行委員会 (岩手県推薦) ...2頁

社会福祉法人幸寿会 特別養護老人ホーム カーサ月の輪  
(滋賀県推薦) ...2頁

子どもの育ち応援団(相模原市推薦) ...3頁

堤 耕一郎 (福岡県推薦) ...3頁

東京交通少年団 (東京都推薦) ...3頁

直井 亜紀 (埼玉県推薦) ...4頁

寝屋川リーダーズ ユースクラブ (大阪府推薦) ...4頁

合計8件

## 【子育て・家族支援部門】

ユニバーサル絵本ライブラリー UniLeaf (神奈川県推薦)  
...5頁

合計1件

国立大学法人 秋田大学 (秋田県推薦) ...6頁

特定非営利活動法人 子育て応援団ぱれっと  
(長野県推薦) ...6頁

しまね縁結びはぴこ会 (島根県推薦) ...6頁

特定非営利活動法人 すくすく (香川県推薦) ...7頁

株式会社プラザ企画 (岩手県推薦) ...7頁

合計5件

内閣総理大臣  
表彰

内閣府特命担当大臣表彰

内閣総理大臣表彰（2件）

社会福祉法人 あーとど  
（青森県五所川原市）  
青森県推薦

同法人は、県内外の関係機関と協力しながら、障害の有無や老若男女を問わず楽しく暮らせるまちづくりを目指して活動しています。障害（児）者が親亡き後も地域で一生暮らし続けられる社会を創るという目的のために活動を始めました。児童期の支援からスタートし、今では就労支援や余暇活動の支援ばかりでなく、極めて困難であるとされる強度行動障害の状態にある人の支援も行っています。そして、平成30年に社会福祉法人として「子供たちが希望に溢れ、大人たちが責任に立ち向かい、高齢者たちが優しさを語る地域社会を創ること」をミッションに活動をスタートしました。その活動は自法人だけではなく、県内外の仲間たちと共に、持続可能な福祉のあり方を追求するネットワーク活動にも及んでいます。



行動援護サービス  
を利用した余暇  
活動



金木さくら祭での出店



行動援護サービス  
を利用した余暇  
活動



行動援護サービス  
を利用した電車  
の乗り方練習



市役所出店



朝の会の様子

NPO法人 発達障がい者就労支援ゆあしっぶ  
（福岡県春日市）福岡県推薦

同法人は、発達障害者の保護者で立ち上げた、発達障害者等の就労や自立を支援する団体です。設立当時、発達障害者に対する理解や支援は乏しく、特に知的障害を伴わずに障害者手帳が取得できない発達障害者は支援の対象外とされることがあり、就労面では障害者手帳がなければ障害者雇用率制度上の対象障害者とはならず、かといって一般枠での就職活動は障害特性のため難しく、採用されたとしても継続することができない人もいました。そこで、障害者手帳の有無に関わらない支援を行うことを目的とし、発達障害者等が就労するに当たって身につけたいマナーやルールを学ぶ塾や研修、発達障害についてや発達障害者等との関わり方を学ぶセミナーを行っています。また、当事者のみならず、支援者や企業からの相談を受けるほか、当事者と保護者のための集いの場づくりの運営も継続して行っています。



塾  
ビジネスマナー  
「挨拶」講座  
の様子



研修  
清掃講座の様子

発達障害者  
就労支援  
セミナー  
の様子



福岡新しい  
公共の場づくり  
のための  
モデル事業の様子



内閣府特命担当大臣表彰（8件）

青い空と白い雲のキャンプ  
実行委員会  
（京都府京都市）  
京都府推薦

同委員会は、普段活動に様々な制約の多い長期療養の病気の子供たちが親元を離れて自然の中で、グループワークを生かした野外活動を体験することにより、子供たち自身が成長することを狙いとしたキャンプを実施しています。

実際のキャンプ実施にあたっては京都府立医科大学及び京都大学医学部付属病院の小児科病棟の協力を得て、医師及び看護師を派遣してもらい、医療関係者の助言と協力を得ながら進めています。

野外料理、楽器作り、演奏会、カヌー・気球などの各種体験プログラムを、安全に且つ子供たちが楽しみながら経験できるように万全の体制を敷いて行っており、病院側からも信頼を得ています。



「熱気球体験」の様子



「クッキング」の様子

鬼っジョブ実行委員会  
（岩手県北上市）  
岩手県推薦

同委員会は、（公社）北上青年会議所とまちづくり市民団体タウンラボ・きたかみのメンバーで構成されています。地域に暮らす子供たちが働くことの楽しさや時には厳しさを知ることで、「職業観」の基盤を作り将来を考える一助となる一方、運営を支える地域の大人や企業を通じて、感謝の気持ちや地域への関心を高めることを目的に「鬼っジョブ～北上おしごとパーク～」を企画・運営しています。地元企業約40社のブースを巡りながら、様々な職業体験を通し、楽しんで社会の仕組みを学ぶこのイベントは、毎年多くの子供たちが参加する人気イベントとなっています。運営には市内の高校生などがボランティアで携わっており、準備・運営を進める中で学生と大人との関わりも生まれ、さらなる地域活性化のためのつながりのきっかけとなっています。



保育士体験



運営スタッフ・ボランティア  
集合写真

社会福祉法人 幸寿会  
特別養護老人ホーム カーサ月の輪  
（滋賀県大津市）  
滋賀県推薦

同法人は、「地域にあってよかった」と住民の方に喜んでいただける施設を目指し、平成23年に開設された高齢者施設で、特別養護老人ホーム、ショートステイ、デイサービスを展開するほか、地域貢献事業にも積極的に取り組んでいます。住民の方から「学校に行きにくくなっている子供たちのことが気になる」という声を受け、さまざまな事情で学校に行きにくくなっている子供が週1回、夕方から夜の時間にホッとできる居場所「フリースペースカーサ」を施設で実施しています。24時間人がいて、お風呂やごはんがあるという施設の強みを生かし、車で自宅まで迎えに行き、子供と大人が1：1の関わりの中でご飯を食べたり宿題や遊びなどをしたり、子供の思いに寄り添いながら、つながることができる安心感を届ける取り組みを続けています。



ハロウィン  
パーティー



滋賀県フリースペース  
交流会の様子

## 子どもの育ち応援団 (神奈川県相模原市) 相模原市推薦

同団体は、市営団地内において子供の居場所づくりに取り組んでいます。団地内で迷惑行為を繰り返す子供に対して、団地の集会所を使って子供の居場所づくりに取り組んできました。団地に住む高齢者を含む多くのボランティア、フリーランスライター、民生委員児童委員などを巻き込み、月4回、学習支援や子供食堂を実施し、子供の居場所づくりや青少年の健全育成に貢献。近隣大学のゼミとも連携し、ハロウィンやクリスマスには多くの大学生が運営に参加。平成30年には、市内の児童生徒の朝食喫食率が相対的に低いことを受け、市内のパン製造企業やフードバンクの協力のもと、朝食会を試行しました。令和元年5月からは月に2回の朝食会を定期開催。団地内の高齢者を巻き込み、多世代交流を意識した地域コミュニティづくりに尽力しています。



「イベント開催」の様子



「朝食支援」の様子

## つつみこういちろう 堤 耕一郎 (福岡県福岡市) 福岡県推薦

同氏は福岡県西警察署少年補導員連絡会顧問をしています。昭和53年に西陵中学校が開校して以降、PTAとして登下校の見守り活動を開始し、昭和63年にPTA会長に就任しました。活動当時、教職員から夜間に生徒の不良行為が多発していることを聞き知り、毎週土曜日22時から単独で夜警を行いました。出会った非行少年等に愛情をもって接し、家庭まで送り届け、必要があれば家庭訪問を行いました。この地道な単独夜警が地域住民の心を動かし、「西陵中おやじの会」が設立されました。その後、昭和63年4月に西警察署少年補導員連絡会の少年補導員に委嘱され、西区の街頭補導活動、立ち直り支援活動等へ積極的に参加しました。少年補導員の退任後も、同会顧問として精力的に活動を続け、その41年もの長きにわたる地道な活動は少年の健全育成に大きく貢献してきました。



堤耕一郎氏



「卒業式」の様子

## 東京交通少年団 (東京都千代田区) 東京都推薦

同団体は、東京都交通安全協会内に事務局が置かれている、都内98の地域交通少年団の連合体です。自らが子供自転車東京大会やリーダー団員研修会、鼓笛演奏会等の統一行事を主催するほか、方面交通少年団の統一行事や98の地域交通少年団が行う活動に対して活動費用の助成を行っています。

活動内容の大半は、地元自治体や警察署が主催する交通安全活動や振り込め詐欺防止パレード等の地域安全活動で、地域住民と一体となった活動を行っています。また最近では活動の範囲を広げ、東京都が主催する打ち水日和や高齢者施設を訪問しての鼓笛演奏等のボランティア活動にも積極的に取り組むことで、青少年の健全育成に取り組んでいます。



交通安全チラシの配布



リーダー団員研修会

なおい あき  
直井 亜紀  
(埼玉県八潮市)  
埼玉県推薦

現在、助産師である同氏が市内小中学校で実施している「いのちの授業」は、性の知識教育だけではなく、家族や未来、そして自分自身のいのちに思いをはせる内容です。他者を認める心の育成として自己肯定感を高め、いじめ予防、望まない妊娠や性犯罪予防、さらには将来の自殺や虐待の予防につなげる活動として、社会的に重要な役割を果たしていると考えます。

また、助産院の活動として、母乳育児指導や育児クラスなどの産後ケアを行い、育児中の親の支援にも携わっています。

このように、小中学生への講演活動に加え、その保護者や育児中の母親、孫を育てる世代など、異世代にわたり、地域に密着した助産師活動を行っています。



小学生向け  
「いのちの授業」の様子



直井亜紀氏

ねやがわ  
寝屋川リーダーズ  
ユースクラブ  
(大阪府寝屋川市)  
大阪府推薦

同団体は、市内在住・在学の18歳から概ね30歳までの若者を対象に組織し、社会活動や子供の指導育成等を通じ、地域を担う人材として資質向上を目指し活動しています。

次世代を担うリーダーの養成を行うため、市の事業として実施している「青少年リーダー養成事業」の中の組織であり、学校や年齢の枠を越えて交流し、積極的な活動を行っています。

その他にも、同じ事業内の組織である「中高生クラブ」、「小学生クラブ」に対し、自然・文化芸術体験、ボランティア活動など様々な活動を通じて指導し、親睦を深めることで参加者の成長を促し、交流の場を提供しています。様々な市の事業に協力したり他団体との協働事業等を通じて、地域への貢献や地域の子供たちの育成支援を行っています。



「社会教育委員との  
意見交換会」の様子



「他団体との  
協働事業」の様子

## 内閣総理大臣表彰（1件）

ユニリーフ  
ユニバーサル絵本ライブラリー UniLeaf  
（神奈川県三浦郡葉山町）神奈川県推薦

同団体は、見える子と見えない子が一緒に楽しめる、英国発、日本唯一の透明点字シート入りユニバーサルデザイン絵本UniLeaf Booksを製作、無償で貸出しています。

製作活動...市販の絵本を解体し、ページ大の透明シートに本文を点字化し挟みこんだ絵本を手作業で製作、本年1,000冊に到達しました。一人で始めた活動に企業初め全国から多世代が参加しています。

絵本を通じた支援活動...年間貸出数は延べ1,700冊以上、30余の個人・団体に定期貸出。自ら全盲児母として利用者と話し障害状況に合わせた選書、経験からの相談等、小さくも温かい活動に。

ユニバーサルデザイン理念の普及・啓発活動...横浜市全盲児第一号として二女を地域小学校で育てた経験から、一緒に過ごす時や場、「慣れ」が共生社会実現には不可欠と実感。絵本をツールとして、理念普及のため、県立高校の授業や部活での製作、市民講座、イベント出展等を展開しています。



定例作業会  
の様子



逗子高校  
点字絵本製作授業



市民絵本製作  
講座の様子



1,000冊記念  
感謝の集い

内閣府特命担当大臣表彰（5件）

国立大学法人 秋田大学  
（秋田県秋田市）  
秋田県推薦

同法人は、世界・地域を見据えたリーダーを育む 世界・地域を視野に未来を創造する 地域と共生し豊かな社会を創る 地域に根差し世界を目指す、というビジョンに沿って歩んでおり、その基礎となるものは世界と地域に貢献する最先端の研究およびその目的にアプローチする人材の育成としています。

平成21年に男女共同参画推進室ココロコニを設置し、育児・介護休業制度を利用したい人のための相談窓口運営や、育児・介護、ワークライフバランス等に関する意見交換会開催等により、職場環境の整備に取り組んでいます。また、県内の高等教育機関等と「女性研究者支援コンソーシアムあきた」を形成し、仕事と生活を両立する女性研究者等をロールモデルとして紹介し、次世代の女性研究者の育成を支援しています。



「女性研究者支援コンソーシアムあきた受賞者講演会」の様子



「北東北国立3大学シンポジウム」の様子

特定非営利活動法人  
子育て応援団ぱれっと  
（長野県上田市）  
長野県推薦

同法人は、育児のスキルアップや父親の育児参画を促進する取組をはじめ、子育てサポーターの養成、困窮家庭の子供や発達障害児を持つ親の支援など様々な取組を地元上田市や企業等と連携することで実現してきました。特徴的な例としては、市や企業と協働で行っている父親の育児参画を促進する取組で、今や県内で先導的な役割を担うまでになった父親の子育てサークルの立ち上げを企画・支援していることが挙げられます。本サークルは活動を年々充実させており、現在ではその活動が県内へと広がっています。近年、少子化が社会的な課題になる中、男性の育児・家事参画や働き方改革の重要性は増しており、こうした父親たちの活動に対する団体のこれまでの取組や実績は他地域のモデルとなっています。



「お母さんのためのリフレッシュ講座」の様子



パパカレッジ 上田による「父子料理教室」

しまね縁結びはぴこ会  
（島根県松江市）  
島根県推薦

同会は、結婚を望む独身男女の相談に応じ出会いのきっかけづくりをするボランティアとして、現(一社)しまね縁結びサポートセンターに認定された「島根はっぴいこーでいねーたー」(「はぴこ」)を会員とする任意団体です。

「はぴこ」は、平成19年に活動開始。現在会員数は231名まで増加しており、県内19市町村すべてに会員が在籍し縁結び活動を行っています。

活動開始以来、独身男女の出会いの場の設定数11,281件、成婚に至った件数は637件となり大きな成果を上げています。

現在、同会の下部組織として、地区はぴこ会を結成し、各地域で結婚相談会ほか、出会いイベントを開催しています。

こうした活動を行うことで、現在の会員登録数は1,533名となり多くの方の縁結び活動を精力的に展開しています。



「地区間交流会」の様子



「大はぴこ会」の様子

## 特定非営利活動法人 すくすく (香川県三豊市) 香川県推薦

同法人は、子育てボランティア経験者で立ち上げた子育て支援の活動をしている団体です。

子供が安心して誕生し、健やかに成長できる子育てしやすい環境づくりを考え、豊かに生活ができるよう見守りながら応援し、子育て家庭がどのようなニーズを持っているのか、活動を通し、身近なところから地域と協働した支援を進めています。

子育てに関する事で気になることや、悩んでいることなどをそのままにせず、身近な存在として何でも話ができる環境を作ることを大切に、子育て家庭の生の声をいかし利用者と共に考え活動しています。



地域イベントの参加



情報誌ママ会企画会

## 株式会社プラザ企画 (岩手県奥州市) 岩手県推薦

同社は、「多様性のない会社には未来はない」「仕事と子育て等を両立させる」などの方針の下、意欲と能力に応じて均等な機会が与えられるよう、数々の先駆的な取組を実施しています。従業員個々の状況に応じて7種類の勤務形態の中から雇用形態を選択できる「雇用タイプ選択制」や、現場管理者の裁量で労働時間の短縮が図れる「勤務自己申告制」など、従業員のニーズやライフステージにあわせて柔軟に勤務できる制度を導入しています。また、育児休業期間や子の看護休暇等について法を上回る休業制度を整備し、併せて休業中や職場復帰時のサポートも行うなど、子育てと仕事の両立支援のために取り組んでいるほか、組織をフラット化して女性管理職の登用を図るなどの取組も進めており、直近10年間で出産や育児を理由として退職する職員はゼロとなっています。



活躍する従業員たちの様子



能力開発研修の様子